



たくさんの団体利用 ありがとうございました

今年度も図書館見学や職場体験学習等で、多くの小・中学生や高校生に図書館を利用していただきました。特に、小学2年生の生活科見学には18校、約1,700人が訪れました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策として、マスク着用の徹底や、通常は全体で行う概要説明を学級単位で実施するなど、各団体にも協力をいただきました。

図書館の概要説明では、施設や設備、図書館で働く人の仕事、図書館の利用の仕方などについて説明しています。施設参観では、各コーナーの案内の他に、ふだんは入ることのできない閉架も見学していただいています。

図書館見学については、1年をとおして受け付けていますので、ぜひご利用ください。お待ちしております。



【概要説明の様子】



【おはなし会の様子】

見学時におはなし会（読み聞かせ等）を依頼する場合は、要相談。

入園・入学おめでとう 教育関連図書展



入園・入学は楽しみだけど、ちょっとドキドキしている子どもたちに、胸の不安が和らぎ、新生活がワクワクするような絵本を集めました。

また、初めてお子様の入園・入学を迎える保護者向けに、通園・通学グッズの作り方の本やお弁当のレシピ本なども揃えています。

開催期間は4月12日までです。



「ブックカート」 ご利用ください！

市立図書館1階正面入口近くに「ブックカート」を置いてあります。

重い本や多くの本を運ぶ際にぜひご利用ください。

なお、以下の点について、ご協力をお願いいたします。

- ・鴨池公園駐車場へ本を運ぶためご利用になりたい場合は、お近くのスタッフまでお声がけください。
- ・ご利用後は、元の場所へお返しください。





行事予定

日	曜	行事等
4	木	おはなしのじかん
6	土	がらがらどんお誕生会
11	木	おはなしのじかん
13	土	キッズタイム (りとるコアラ)
14	日	図書館シネマ「尊く巖かな死」
18	木	おはなしのじかん
20	土	キッズタイム「図書館見学ツアー」
25	木	おはなしのじかん
27	土	春休み子ども映画会①
28	日	春休み子ども映画会②
29	月	春休み子ども映画会③

一般書貸出ベスト 10

(2月19日現在)

- | | | |
|---|---------------------|--------|
| 1 | 沈黙のパレード | 東野 圭吾 |
| 2 | ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人 | 東野 圭吾 |
| 3 | 希望の糸 | 東野 圭吾 |
| 4 | 焦眉 | 今野 敏 |
| 5 | そして、バトンは渡された | 瀬尾 まいこ |
| 5 | ライオンのおやつ | 小川 糸 |
| 5 | 逆ソクラテス | 伊坂 幸太郎 |
| 5 | きたきた捕物帖 | 宮部 みゆき |
| 5 | 黙示 | 今野 敏 |
| 5 | 滅びの前のシャングリラ | 凧良 ゆう |

図書館から利用者の皆様へお願い

新型コロナウイルス感染症対策のため、「マスクの着用」「ソーシャルディスタンスの確保」「手洗い・手指消毒」にご協力をお願いいたします。

また、行事等についても、新型コロナウイルス感染症等の状況により、変更となる場合があります。最新の情報は、図書館ホームページ等でご確認ください。

～春休みも図書館へ～ 春休み子ども映画会

3月27日
～29日



下記の日程で「春休み子ども映画会」を開催します。

- ・3月27日(土) 14:00～ 「映画 すみっこぐらし」
 - ・3月28日(日) 14:00～ 「みつばちマーヤの大冒険」
 - ・3月29日(月) 14:00～ 「みつばちマーヤの大冒険2」
- 参加は無料ですが、申込が必要です。

- ◆定員：8組(ただし1組4名まで) ※先着申込順
- ◆申込受付：3月13日(土)～3月24日(水)

新着おすすめ本の紹介

教室に並んだ背表紙

著者：相沢 沙呼
出版社：集英社
請求記号：F 71

わたしは欠陥品なのかもしれない。中学校の“図書室”を舞台に、ままならない思春期の友人関係や未来への漠然とした不安、揺れる心模様を繊細に描く、全6編の連作短編集。『小説すばる』掲載に書き下ろしを加えて単行本化。

心の疲れをとる事典

著者：西多 昌規
出版社：朝日新聞出版
請求記号：498.3 ㊦

職場ではいつも笑顔でいる、SNSの投稿にすべてリアクションをする、家は常にきれいな状態にする……。コロナ禍が気づかせてくれたことも含めて、「やめたほうが心の疲れがとれること」を幅広くリストアップして解説する。

去られるために そこにいる

著者：田中 茂樹
出版社：日本評論社
請求記号：371.4 ㊦

言うことを聞かない、困ったクセが直らない、学校に行かない……。子どもの問題には、必ず大切な意味がある。カウンセリングの事例から見えてきた親の役割や子どもへの接し方をやさしく伝える。『こころの科学』連載を単行本化。